



【校訓】 立志 ・ 協働 ・ 生命

南 風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No. 12

令和 4 年 5 月 9 日 (月) 通算 2108 号

高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

夢だけでなく人生をも奪った悲惨な事故

紫雲丸遭難事故から 67 年

1955 年 (昭和 30 年) 5 月 10 日、旧国鉄旭駅 (現在の J R 旭駅) を出発した修学旅行団は、夜行列車で翌朝 11 日に高松駅に到着、その後、宇高連絡船の紫雲丸 (1,480 トン) に乗り込みました。その朝、瀬戸内海は濃い霧に包まれていました。午前 6 時 40 分に高松港を出た紫雲丸は、6 時 56 分、高松港沖で第三宇高丸 (1,200 トン) と衝突、船体にできた大きな亀裂から海水が入り込み、わずか 4 分後に沈没しました。

紫雲丸には、南海中学校の阪神班の修学旅行生 117 人が乗っており、このうち 28 人が尊い命を失いました。遭難記念碑にもある通り、希望を胸に高知を出発した生徒を突然襲った悲劇に、言葉にはできないほどの悲しみや痛みを禁じえません。

四国発展の夢をかけた現在の瀬戸大橋は、紫雲丸のような悲劇が二度と起こらないようにとの願いを込め、この事故から 30 数年たった 1988 年 (昭和 63 年) 年 4 月 10 日に完成した橋です。また、全国の小・中学校に当たり前にあるプールは、この事故をきっかけに泳げない子どもをなくそうと建設されたものです。

この事故から今年で 67 年、5 月 11 日 (水) にご遺族や関係の方をお呼びして 66 回目の追悼式を行います。ここに、謹んで 28 柱の御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族や関係の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたします。

紫雲丸遭難者追悼式

- 1 日 時 令和 4 年 5 月 11 日 (水) 8:50~9:20
- 2 場 所 南海中学校 紫雲丸遭難記念碑前 (雨天決行：荒天時は各代表者で実施)
- 3 式次第

- (1) 立礼 (2) 開式のことば
- (3) 学校長より
- (4) 生徒会より
(生徒会長 江口拓海さん)
- (5) 献花



昨年の追悼式 (令和 3 年 5 月 11 日)

ご遺族・同窓生関係者、高知市教育委員会、高知市人権教育研究会、長浜小児童代表、浦戸小児童代表、横浜中生徒会、南海中生徒会、その他関係の皆様

- (6) 黙祷
- (7) 閉式のことば (8) 立礼



記念碑は 28 名の犠牲者の慰霊のために、遭難事故から 2 か月後の昭和 30 年 7 月に建てられました。その後、40 周年のときに、今の場所、今の向きに移されました。(記念碑では午前 6 時 55 分となっていますが、現在では 6 時 56 分衝突とされています。)

おかまいのない方はお花の提供をお願いします

5 月 11 日の追悼式で、関係者と代表による献花を行います。おかまいのない方、お花をご提供いただける方は、当日の朝、お花を玄関までお願いします。

花をいける白い花筒は、紫雲丸遭難の時、捜索にあたった潜水夫のひとりである、大賀保夫さん (岡山県玉野市在住) が、十数年ほど前に、慰霊のため南海中学校を訪れた時にいただいたお金で購入したものです。大賀さんは、南海中だけでなく、その時遭難された他の小学校にも何年かに一度はお出かけだということです。

